

日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか

最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者 21 名が
日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろし。
主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載

日本書紀の誕生

—編纂と受容の歴史—

編纂 1300 年
記念出版

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志 編

2018 年 5 月刊行 定価（本体 4,800 円＋税）

A5 判・上製・カバー装・512 頁＋カラー口絵 8 頁 ISBN978-4-8406-2225-7 C3021 4800E

【本書の 6 つのみどころ】

①**日本書紀本文を読む前の入門書** 奈良時代の編纂事情と、奈良時代以後に読み継がれた受容に着目し、研究の最前線を示す。日本書紀本文を読む前に、知らなくてはならない事項を網羅する、待望の日本書紀研究入門。

②**学際的アプローチ** 日本史、朝鮮史、日本文学、文化史、日本語学、漢籍受容史、思想史、神道史など、各界をリードする研究者 21 名が多角的・学際的に考察。全編書き下ろし。

③**日本書紀編纂の謎に迫る** 日本書紀の編纂資料の実態とは。幻の系図一卷とは。記事はどのように形成されたのか。日本書紀の本文表現に強く影響を与えた漢籍受容の実態とは。発掘された木簡が語る日本書紀「潤色」の論理とは。神話はどのように形作られたのか。暦の年月日記載から読み解く記事の信憑性とは。編纂にまつわる様々な謎を解き明かす。

④**読み継がれた日本書紀の多面な受容の歴史** 日本書紀講書の諸問題とは。日本書紀神話が変容し再生した中世日本紀とは。日本書紀の写本を残した吉田家の神道思想とは。日本書紀を読み継いだ痕跡「古訓」を読み解くために必要な知識とは。源氏物語にみえる日本書紀とは。奈良時代以後、様々な形で読み継がれた日本書紀受容・読書の歴史を明らかにする。

⑤**豊富なカラー口絵** 日本書紀の代表的な古写本 8 点をカラー掲載。なかでも学界で最近紹介された日本書紀の現存最古写本の一つ、大垣本（平安前期・神代卷上断簡）を新撮影し収録。

⑥**多数の付録** 主要写本一覧、関連史料集、文献目録、複製本・ウェブアクセスガイドなど、日本書紀を調べるための付録を満載。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8

Tel:03-3291-2961 / fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>

【目次】

〔カラー口絵〕日本書紀の古写本

田中本（平安前期）／岩崎本（平安中期）／前田家本（平安後期）／弘安本（13世紀）／乾元本（14世紀）／図書寮本（12世紀）／熱田本（14世紀）／大垣本（平安前期・巻第一断簡）
口絵解説：遠藤慶太

序 河内春人

I部 総論 ―日本書紀研究とは何か―

- 1 日本書紀研究の現在 荊木美行
- 2 日本書紀の写本 石上英一
- 〔コラム〕海外の日本書紀研究1 ―台湾― 是澤範三
- 海外の日本書紀研究2 ―韓国― 赤羽目匡由

II部 日本書紀の前史

- 1 天皇記とその前後 関根 淳
- 2 古事記と帝紀 遠藤慶太
- 3 日本書紀系図一卷と歴史意識 河内春人
- 4 百済三書と日本書紀 廣瀬憲雄
- 〔コラム〕日本書紀の語法 ―和習― 沖森卓也

III部 日本書紀の成立

- 1 記紀神話・伝承における素材・文学性・政治性 榎村寛之
- 2 日本書紀の暦日について ―雄略紀を中心に― 細井浩志
- 3 日本書紀神代巻における類書利用 高田宗平
- 4 木簡と日本書紀の用字 市 大樹
- 5 記事の形成 ―允恭紀の中臣烏賊津使主伝承を中心に― 笹川尚紀
- 6 神話の形成と日本書紀の編纂 久禮旦雄
- 〔コラム〕仮名日本紀 関根 淳

IV部 日本書紀の受容と展開

- 1 日本紀講書と受容 ―八世紀における日本書紀の普及について― 長谷部将司
- 2 日本書紀古訓論 是澤範三
- 3 中世日本紀 原 克昭
- 4 吉田家と日本書紀 ―吉田兼俱の神代巻講釈を中心に― 平沢卓也
- 〔コラム〕慶長勅版の神宮献納 石田実洋
- 垂加神道における日本書紀研究 松本 丘
- 源氏物語と日本書紀 湯浅幸代

付録

- 1 日本書紀訓点本諸本一覧（是澤範三）
- 2 日本書紀関係記事史料集
- 3 日本書紀研究文献目録（抄）（関根淳）
- 4 日本書紀写本の複製一覧 ―影印本・ウェブ画像―

あとがき 遠藤慶太



口絵7 熱田本（14世紀）巻第九：神功紀
京都・西条宗瑞が熱田社に奉納した写本。神功紀には吉田兼俱の本義書がある。写真は神功紀で撰定（三編志）を引用する箇所。『日本書紀』撰者は神功皇后の年代を三世紀に定めた。帯方郡の太守は漢を末で『鄧夏』とあるが、熱田本により『鄧夏』と訂正される。熱田神宮蔵（重要文化財）



口絵8 大垣本 神代巻断簡（平安前期）巻第一：神代上
近年紹介された神代上の断簡。神代上第六段「マツカスノ」の断簡の一場。田中本と二通の断簡で、紙質はやはり「性重紙」である。断簡は古くは『日本書紀』写本の一部としてその断簡は長く、流布本と異なる用字「能」は本文校訂の材料となる。大垣博成蔵

〔カラー口絵〕熱田本（左）と近年紹介された最古写本大垣本（右）

【予約受付中】 刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編／八木書店刊		2018年5月刊行	取扱店（番線印）
	日本書紀の誕生―編纂と受容の歴史―		{ }冊	
	ISBN978-4-8406-2225-7 C3021 ¥4800E 定価（本体4,800円＋税）			
	お名前（ふりがな）	TEL		
	FAX			
ご住所 〒	E-MAIL			